



第76期

業 務 報 告 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日



HIROSHIMA MIDORI SHINKIN BANK

広島みどり信用金庫

基本方針

1. 中小企業並びに国民大衆のための金融機関として産業経済の繁栄に貢献することを目的とする。
2. 役職員は和協一致目的達成に努力する。

金庫の概要（令和6年3月末現在）

設 立	昭和22年10月8日
本 店	広島県庄原市西本町三丁目1番8号
店 舗 数	9店舗
営 業 区 域	広島県内全域、島根県仁多郡
会 員 数	8,064名
普通出資金	314百万円
常勤役職員	83名



みどりしんきんのシンボルマーク

みどり（MIDORI）の頭文字Mを図案化したものです。鳥が羽ばたくイメージによって躍動感を、連なる山々のイメージによって融合感を表現し、未来への飛躍・発展する当金庫の姿を表しています。カラーは中国山地に萌える新緑を思わせるような明るいグリーン。地域とともに実り豊かに成熟していくことを意味しています。



ごあいさつ

会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当金庫第76期（令和5年度）業務概要につきましてご報告申し上げます。

令和5年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことから、社会経済活動の正常化が進みつつあり、本格的な経済回復、そして新たな経済成長の軌道に乗ることが期待されています。

一方では、原材料及びエネルギー価格などの高騰に起因した企業による価格転嫁の難しさや、円安、人材不足の影響などにより、厳しい環境に置かれた企業が多く存在しているなか、政府が実施した実質無利子無担保融資の返済が本格化しており、地域金融機関においては、地域産業や事業者を下支えし地域経済の回復や成長に貢献することが喫緊の課題であり、これが延いては事業基盤の存立に関わる問題といえます。

当県北地域においても、少子高齢化、事業所の減少など構造的課題を抱えるなか、地域を支える中小企業の経営環境は一段と厳しさを増し、我々信用金庫を取り巻く環境も、日本銀行によるマイナス金利政策が解除され金融政策が転換期を迎えております。

このような環境下、取引先の資金繰りを支えるとともに、事業の持続可能性を見極めながら事業再構築や販路拡大など生産性向上に向けた課題解決支援に積極的に取り組み、取引先は勿論の事、地域経済を成長軌道に乗せていくことが重要な使命であると考えております。また、経営管理態勢や法令等遵守（マネー・ローndリング及びテロ資金供与対策を含む）、サイバーセキュリティなど各種リスクへの対応力を高度化するとともに、急速に進展する社会デジタル化への対応やSDGsなどへの取り組みも進めてまいりました。

その結果、預金の期末残高は前期より35億75百万円 3.55%減少し969億27百万円に、貸出金は4億30百万円 1.10%増加し391億73百万円となりました。

損益状況は、コア業務純益5億68百万円（対前年度比61百万円増）、経常利益4億55百万円（対前年度比2億円増）、当期純利益3億90百万円（対前年度比2億75百万円増）と増収増益となりました。金融機関の健全性、安全性を示す自己資本比率は18.30%となり国内基準で求められる4%を大きく上回っております。なお、普通出資金配当率は4%とさせていただきます。

これも偏に、会員各位をはじめ地域の皆様方の温かいご支援の賜物であり役職員一同深く感謝申し上げます。

今後とも健全経営に努め地域と共に歩み、このような厳しい環境下にあろうとも業務を展開し完遂することが社会的使命であると肝に銘じ、地域に溶け込んだ協同組織金融機関として、地域経済の発展に貢献して参る所存でございますので変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年6月



広島みどり信用金庫

理事長 小林 明宗

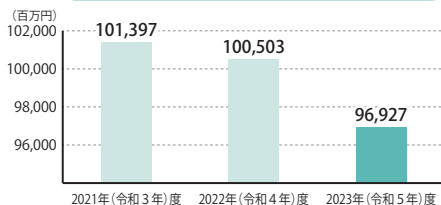
業績の概要

● 預金積金の残高 ●

預金積金の残高は、地公体預金等の減少により対前年度比3,576百万円減少の96,927百万円(減少率3.55%)となりました。

地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向け努力してまいります。

預金積金残高

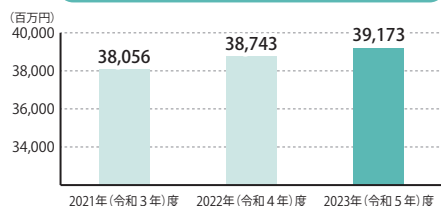


● 貸出金の残高 ●

貸出金の残高は、対前年度比430百万円増加の39,173百万円(増加率1.10%)となりました。

今後も、地域経済の維持と発展のため、お客様の様々な課題解決を図り、資金ニーズ等にお応えしてまいります。

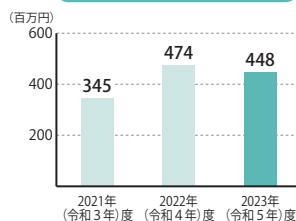
貸出金残高



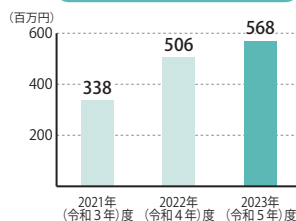
● 業務純益／コア業務純益の状況 ●

損益の状況は、業務純益448百万円、金融機関の本来の業務から得られる収益力を示すコア業務純益568百万円となりました。

業務純益



コア業務純益

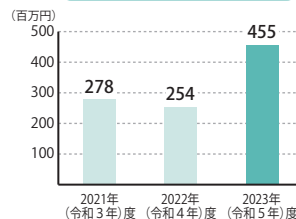


コア業務純益とは
貸出金や有価証券等の受入利息や手数料等の収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費等を差し引いた「業務純益」より、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券の損益を控除したもので、金融機関本来の事業活動による利益を表しております。

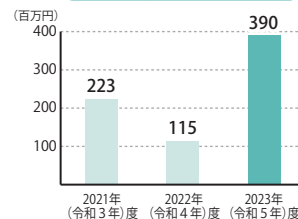
● 経常利益／当期純利益の状況 ●

経常利益455百万円、当期純利益390百万円計上となりました。
効率的な資金運用と経費の節減に努めると共に適正な諸引当等を行い、安定した収益を確保しております。

経常利益



当期純利益

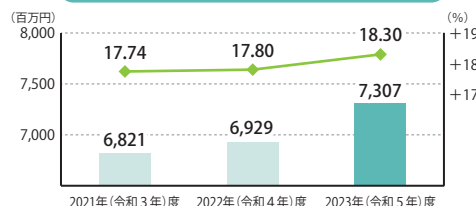


● 自己資本の状況 ●

自己資本額7,307百万円となり、自己資本の内容は充実しております。

金融機関の健全性を示す自己資本比率は18.30%となり、国内基準4%を大幅に上回る高い水準を維持しております。

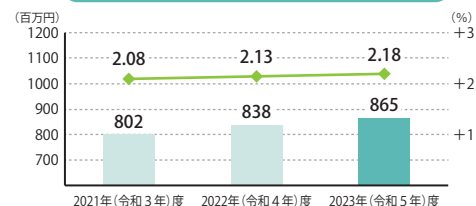
自己資本額及び自己資本比率



● 不良債権の状況 ●

金融再生法上の不良債権額は865百万円となり、総与信に占める開示債権の不良債権比率は2.18%となりました。

不良債権額及び不良債権比率



TOPICS

▶2023年11月11日(土)
 合同マルシェ「広島のエえもん大集合」の開催

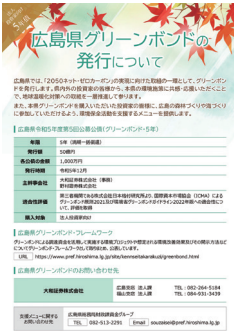
合同マルシェ「広島のええもん大集合」をＪＲ広島駅北口イベントスペースにて広島信用金庫や呉信用金庫、しまなみ信用金庫と合同開催いたしました。駅の利用者へ庄原や三次の食の魅力を情報発信し、地域事業者の販路拡大へ繋げる支援に取り組みました。



▷2023年12月20日(水)

広島県が発行するグリーンボンド（令和５年度第５回公募公債）に投資を行いました。本債券は、広島県が取り組む「漁場環境の保全」、「県有施設の照明のＬＥＤ化」等の環境改善効果のある事業に充当されます。

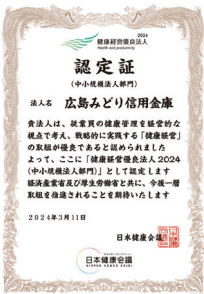
SDGs達成に貢献する事業等を資金面からサポートし、地域とともに未来へ歩み続ける地域金融機関を目指しており



▷2024年3月11日(月)

健康経営優良法人2024
(中小規模法人部門)認定

経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人 認定制度」により、「中小規模法人部門」における「健康経営優良法人2024」の認定を受けました。



地域貢献活動

地元行事への参加

地域貢献の一環として、第45回三次きんさい祭や第41回庄原よ
いとこ祭等へ参加いたしました。



みどりしんきんSBCの活動

地域の次世代を担う「若手経営者の会（みどりしんきんＳＢＣ）」を組成し、異業種交流や体験発表研修会等を通じて、後継者の育成や人的ネットワークづくりのお手伝いを行っています。



出前講座への参加

将来の地元就職への興味関心を高める目的で広島県立庄原格致高等学校にて出前講座へ参加いたしました。



第76期 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	1,013	預 金 積 金	96,927
預 け 金	13,789	当 座 預 金	1,290
買 入 金 銭 債 権	406	普 通 預 金	45,192
有 価 証 券	47,814	貯 蓄 預 金	54
国 債	9,467	通 知 預 金	105
地 方 債	7,252	定 期 預 金	46,984
社 債	16,493	定 期 積 金	2,159
株 式	669	そ の 他 の 預 金	1,141
そ の 他 の 証 券	13,932	借 用 金	29
貸 出 金	39,173	借 入 金	29
割 引 手 形 付 手 形 貸 付 証 書 貸 付 越 当 座 貸	92 706 37,248 1,126	そ の 他 負 債	110
そ の 他 資 産	856	未 決 済 為 替 借 用 金	35
未 決 済 為 替 貸 信 金 中 金 出 資 金	17 579	未 払 費 用	23
未 収 収 益	150	給 付 補 填 備 金	1
そ の 他 の 資 産	108	未 払 法 人 税 等	10
有 形 固 定 資 産	819	前 受 収 益	4
建 物	341	払 戻 未 済 金	8
土 地	359	払 戻 未 済 持 分	0
リ ー ス 資 産	9	職 員 預 り 金	8
その他の有形固定資産	107	リ ー ス 債 務	9
無 形 固 定 資 産	5	そ の 他 の 負 債	7
ソ フ ト ウ ェ ア	4	賞 与 引 当 金	50
その他の無形固定資産	0	役 員 賞 与 引 当 金	6
繰 延 税 金 資 産	393	退 職 給 付 引 当 金	256
債 務 保 証 見 返	339	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	45
貸 倒 引 当 金 (うち個別貸倒引当金)	△321 (△257)	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	0
		偶 発 損 失 引 当 金	3
		負 務 保 証	339
		負 債 の 部 合 計	97,769
		(純資産の部)	
		出 資 金	314
		普 通 出 資 金	314
		利 益 剰 余 金	6,944
		利 益 準 備 金	332
		そ の 他 利 益 剰 余 金	6,612
		特 別 積 立 金 (うち経営強化積立金)	6,200 (200)
		当 期 未 処 分 剰 余 金	412
		会 員 勘 定 合 計	7,258
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△737
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△737
		純 資 産 の 部 合 計	6,521
資 産 の 部 合 計	104,290	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	104,290

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第76期 損益計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	金	額
経 常 収 益		1,660,962
資 金 運 用 収 益	1,525,811	
貸 出 金 利 息	612,809	
預 け 金 利 息	28,506	
有 価 証 券 利 息 配 当 金	867,920	
そ の 他 の 受 入 利 息	16,574	
役 務 取 引 等 収 益	100,416	
受 入 為 替 手 数 料	40,741	
そ の 他 の 役 務 収 益	59,674	
そ の 他 業 務 収 益	8,982	
国 債 等 債 券 売 却 益	614	
国 債 等 債 券 償 還 益	1,498	
そ の 他 の 業 務 収 益	6,869	
そ の 他 経 常 収 益	25,752	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	24,524	
そ の 他 の 経 常 収 益	1,228	
経 常 費 用		1,205,807
資 金 調 達 費 用	11,877	
預 金 利 息	10,486	
給 付 補 備 金 繰 入 額	752	
借 用 金 利 息	596	
そ の 他 の 支 払 利 息	41	
役 務 取 引 等 費 用	96,638	
支 払 為 替 手 数 料	12,700	
そ の 他 の 役 務 費 用	83,937	
そ の 他 業 務 費 用	121,571	
国 債 等 債 券 売 却 損	121,334	
国 債 等 債 券 償 還 損	140	
そ の 他 の 業 務 費 用	96	
経 常 費 用	971,127	
人 件 費	622,000	
物 件 費	318,026	
税 金 等	31,100	
そ の 他 経 常 費 用	4,592	
そ の 他 の 経 常 費 用	4,592	
経 常 利 益		455,154
特 別 利 益		254
特 別 損 失		417
税 引 前 当 期 純 利 益		454,991
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	30,177	
法 人 税 等 調 整 額	33,924	
法 人 税 等 合 計		64,102
当 期 純 利 益		390,889
繰 越 金 (当 期 首 残 高)		21,361
当 期 未 処 分 剰 余 金		412,250

注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資1口当たり当期純利益金額 62円19銭
3. 当事業年度における顧客との契約から生じる収益は、100,031千円であります。
4. 収益を理解するための基礎となる情報は、貸借対照表の注記において、重要な会計方針とあわせて注記しております。

第76期 剰余金処分

第76期（令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで）

(単位:円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	412,250,761

これを次のとおり処分いたします。



剰 余 金 処 分 額	392,360,871
普通出資に対する配当金	(年4.0%) 12,360,871
特 別 積 立 金	380,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	19,889,890

令和6年6月1日現在

理 事 長 (代表理事)	小 林 明 宗	理 事	奥 井 智 裕
常務理事 (代表理事)	畠 山 一 之	理 事	西 田 英 司
常務理事 (代表理事)	田 邊 篤 博	理 事	八 谷 尚 幸
常勤理事	大 田 幸 弘	常勤監事	井 澤 一 憲
常勤理事	伏 谷 康 則	監 事	三 浦 益 隆
		監 事	光 井 俊 明

(注) 監事 光井俊明は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

令和5年度における貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書(以下、「財務諸表」という。)並びに財務諸表作成に係る内部監査等について適正性・有効性等を確認しております。

令和6年6月19日

広島みどり信用金庫

理事長 小 林 明 宗

第76期 通常総代会報告並びに決議事項の報告

令和6年6月18日に開催しました第76期通常総代会において下記の事項を報告並びに付議し、各議案とも原案どおり承認可決されました。

記

● 報告事項

令和5年度（第76期）業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

● 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認に関する件
- 第2号議案 会員の除名に関する件
- 第3号議案 総代候補者選考委員18名選任の件
- 第4号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件

以上



みどりしんきん 地域応援 定期預金

募集総額 **10億円**

取扱期間 2024年6月17日(月)～2024年12月30日(月)

当金庫出資会員の方		非会員の方	
1年	店頭表示金利 +年0.10%	店頭表示金利 +年0.07%	
3年	店頭表示金利 +年0.15%	店頭表示金利 +年0.10%	

※取扱い期間は6月17日～12月30日。1年定期は100万円以上、3年定期は500万円以上。の店頭表示金利を決定すると見做します。
詳しくは、最寄りの店舗もしくは営業担当までお問い合わせください。

広島みどり信用金庫

皆様からのいいね!やフォローもお待ちしております!

Instagram公式アカウント

midorishinkin

投稿数 47件 フォロワー 48人 フォロー中 4人

広島みどり信用金庫の公式アカウントです。地域の魅力やイベントの情報を発信しています。@www.shinkin.co.jp/midori

地域の魅力やイベントの
情報を発信しています

MIDORISHINKIN

Instagram採用アカウント

midori_shinkin_recruit

投稿数 47件 フォロワー 239人 フォロー中 43人

広島みどり信用金庫 採用情報。広島みどり信用金庫は、広島市・三次市に2つの店舗を開設しております。学生のみなさんへ「みどり信金の魅力」について発信します! @www.shinkin.co.jp/midori

採用情報や
みどり信金の魅力等
就活に役立つ情報を
発信しています

MIDORI.SHINKIN.RECRUIT

店舗のご案内

本店営業部	庄原市西本町三丁目1番8号	☎0824-72-1151
比和支店	庄原市比和町比和777番地1	☎0824-85-2011
西城支店	庄原市西城町西城180番地1	☎0824-82-2300
高野支店	庄原市高野町新市1120番地3	☎0824-86-3037
東城支店	庄原市東城町川東1175番地	☎08477-3-0026
三次支店	三次市三次町1539番地の9	☎0824-63-5231
十日市支店	三次市十日市中二丁目4番20号	☎0824-63-5234
三良坂支店	三次市三良坂町三良坂5048番地4	☎0824-44-2227
畠敷支店	三次市畠敷町894番地の4	☎0824-63-5236



いつでもどこでもハートフル
広島みどり信用金庫